



©ORIX Buffaloes

塚原 頌平(つかはら しょうへい)

1992年7月8日生まれ(24歳)。
 絹川小学校、結城南中学校を卒業し、つくば秀英高校を
 経て、2011年にドラフト4位でオリックス・バファローズへ入団。
 昨年は、主に中継ぎ投手として、シーズンを通して活躍。
 また、初選出となった「マツダオールスターゲーム2016」では、
 2試合の両試合で出場を果たす。

塚原 昨シーズンは、目標にしてい
 いた「開幕1軍」で迎えられ
 た年でした。前半戦はイメー
 ジどおりの良いピッチングが
 できましたが、後半戦に失速
 してしまつたので、今年こそ
 はという強い思いがあります。
 そんな中で、「マツダオール
 スターゲーム2016」のメ
 ンバーに初めて選出され、2
 試合の両試合に出場できまし

—まずは塚原さんより、昨
 シーズンを振り返っての感想
 や、印象に残っている出来事
 などをお聞かせください。

それではまず、一つ目の
 質問「2016年を振り
 返って」です。

塚原 2013年と2014年は
 肘を故障してしまい、思うよ
 うな仕事ができませんでした。
 投げることが仕事の投手
 にとつては、とても悔しい2
 年間でしたね。
 今は投げるのがとても楽し
 く、気持ちも充実しているの
 で、頑張りがいがあります。

関 肘を故障し、なかなか自由
 にプレーできなかったと聞き
 ました。つらくなかったです
 か？

た。充実した1年でしたが、
 悔しさが残るシーズンでもあ
 りましたね。

市長 プロの世界は、成績が年俸
 に大きく影響してくるので、
 大変だと思えます。塚原さん
 が所属している球団の中でも、
 やはり競争は激しいですか？

塚原 結婚をしたことが大きな
 きっかけになりましたね。プ
 ロはいつくビになつてもおか
 しくない世界なので、弱音は
 吐けないです。肘の故障が
 治つて、結婚して、調子がど
 んどん上がりました。

関 そうですか。やはりスポー
 ツ選手として、気持ちの充実
 は大切ですね。



しょうへい
塚原 頌平さん
 (結城市出身・プロ野球選手)

前場市長

関 仁一さん
 (結城市体育協会会長)

2017年新春対談 「スポーツで結城を元気に！」

あけましておめでとうございます。
 2016年は、スポーツ界が大変盛り
 上がった年となりました。本市においても、
 さまざまな競技で在住・出身の皆さんの
 活躍が光りました。

また、2019年には「いばらき国体」、
 そして2020年には「東京オリンピッ
 ク・パラリンピック」と、今後も大きな
 イベントを控え、より一層スポーツ界が
 盛り上がっていくことでしょう。

そこで今回は、本市出身のプロ野球選
 手・塚原頌平さんをお迎えし、「スポー
 ツで結城を元気に！」をテーマに、前場市長、
 関結城市体育協会会長との新春対談を
 お送りします。

塚原さんの昨シーズンを振り返りなが
 ら、本市のこれからのスポーツ教育など
 について意見を交え、「結城市民に元気や
 勇気を与えられるスポーツの在り方」に
 ついて考えます。

塚原 そうですね。良い成績を出
 せば出すほど年俸も上がりま
 すし、プロの世界はそれが評
 価につながるもので、ある意味
 分かりやすいです。

市長 国内の選手や外国人選手の
 補強もあるので、本年に毎年
 が勝負の年です。

市長 来月にはさつそくキャンプ
 も始まりますね。

塚原 はい。私の所属するオリッ
 クス・バファローズは、宮崎
 県で開催していますが、2月
 はまだまだ気候は寒いですね。

関 これからさらにステップ
 アップされることと思いま
 す。気持ちの切り替えは難し
 くないですか？

塚原 僕は割と簡単に切り替えら
 れますね。昨年の良いピッチ
 ングのイメージがあるので、
 それ以上のピッチングができ
 るようにしたいといけないで
 す。一度対戦したバッターと
 再び対戦するので、ピッチン
 グイメージを変えていかない
 と、抑えられないと思うので。

—塚原さんから、貴重なお話
 を伺いましたが、結城市とし
 て今年、スポーツに関する
 さまざまなイベント・話題が
 ありましたね。

市長 そうですね。まずは、塚原
 さんも中学生時代に参加され
 たかと思いますが、本市の夏
 の風物詩「第67回北関東中学
 校野球大会」が、今年も茨城・
 栃木両県から86校84チームが
 参加し開催されました。

また、こちらも冬の風物詩
 となった「第16回結城シルク
 カップロードレース大会」も、
 3,521人のエントリーがあ
 りました。関東を中心に北は
 青森県、南は岡山県から参加
 いただいたということで、本
 当にありがたいことです。

昨年「リオデジャネイロ・
 オリンピック」がありました
 が、本市在住の中山由起枝さ
 んが、クレール射撃・女子トラッ
 プ競技で4度目のオリンピック
 出場を果たされました。結
 果は予選敗退となりましたが、
 素晴らしい戦いを見せてくれ
 ました。

また、昨年11月の「第64回
 全日本剣道選手権大会」では、
 本市出身の大学生、宮本敬太
 さんが、第3位入賞という快
 挙を果たされました。茨城県
 勢の入賞は38年ぶり2度目の
 快挙だそうで、本当に素晴ら